

## 参考資料

### **■ ABE イニシアティブ（アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ : African Business Education Initiative for Youth）**

2013年に開催された第5回アフリカ開発会議（TICAD V）において、職業教育や高等教育を通じて雇用に直結する人材を生み出す教育と、日本とアフリカ間の人的交流を促進することの重要性を踏まえ、アフリカから日本へ学びに来る若者のため、日本の大学で修士号を取得し、また、日本企業でのインターンシップの機会を同時に提供するプログラムとして、ABE イニシアティブを発表しました。本プログラムはアフリカの産業人材育成のみならず、日本企業のアフリカビジネスをサポートする「水先案内人」の育成を目的としています。2014年9月に初めてABE イニシアティブの研修員156人が8カ国から来日して以来、2019年4月までに、アフリカ54カ国から1,219人が来日、うち775人がすでにプログラムを終え帰国し、さまざまな分野で活躍しています。2019年8月に横浜で開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD VII）では、ABE イニシアティブ 3.0として、6年間で3,000人の産業人材育成を目指すことが発表され、本事業の継続が決められました。

### **■ 高度外国人材の育成・還流事業イノベティブ・アジア**

アジア途上国の優秀な人材が日本のイノベーションに貢献することに加え、いずれは母国に戻って自国の産業発展に貢献できるよう、国費留学制度とも連携の上、政府開発援助（ODA）も活用して人材育成面で取り組みを行うもので、2017年から開始されました。対象分野は、イノベーション環境への貢献が期待される「情報技術、IOT、人工知能等の科学技術分野及び工学分野」と、これに関連する分野（理系分野）であり、学部卒業見込みの者又は既卒者に対し、修士課程や博士課程への進学機会を提供しています。また、本事業は民間人材、産業人材の育成を狙いとしているため、日本でのインターンシップを必須としています。対象国は以下の12カ国、2017年度から5年間で約1,000人の受入（長期・短期）を目標としています。

### **■ SDGs グローバルリーダー・コース**

アジア、大洋州、中南米、アフリカ諸国の行政官等が、日本の大学院の博士・修士課程で学び、学位取得を目指す長期研修プログラムであり、現在、100名を超える研修員が日本各地で修学しています。